



令和4年度 会員の就業等に関するアンケート調査（報告）



令和4年度

公益社団法人 西原町シルバー人材センター

目次

I 調査の概要

1. 令和4年度会員の就業等に関するアンケート調査実施要領	1
2. 調査へのご協力について ※依頼文書	2
3. 会員アンケート調査票	3
4. 会員の就業等に関するアンケート調査集計表	5

II 調査報告

会員ご自身について

【問 1】 年齢層(2区分)	7
----------------	---

就業提供等について

【問 2】 シルバー人材センターからの就業提供について	7
【問 3】 シルバー人材センターからの就業提供を増やす為の対策	8
【問 4】 資格・免許・特技等の就業への反映	8
【問 5】 シルバー派遣事業の周知	9
【問 6】 配分金の使途について	9
【問 7】 会員としての満足度	10

安全・適正就業について

【問 8】 安全就業面で不安・危険を感じた経験	10
【問 9】 緊急マニュアルの周知	11

その他、シルバー人材センターについて

【問 9】 センターが行なう「熱中症・コロナ」対策	11
【問 11】 シルバー人材センター紹介について	12
【問 12】 事務局職員の対応について	12
【問 13】 事務局相談窓口の環境	13
【問 14】 【問 13】で回答した理由	13
【問 15】 シルバー人材センターへの意見・要望	14

III 意見・要望

○ 当シルバー人材センターへの意見・要望 (問 15 関係)	15
--------------------------------	----

IV 総括

○ 総括・今後の取組み	36
-------------	----

令和4年度 会員の就業等に関するアンケート調査実施要領

- 1. 目的** 令和4年度事業計画に掲げた調査研究に基づく会員の就業に関する意識調査の実施について、会員増強及び退会会員抑制の取組みに資するとともに、関係法令及び定款に定める事業の適正かつ効果的な運営を図る為、本調査により実態を把握し、会員の就業環境の改善等、今後のセンター事業運営並びに業務改善に資することを目的とする。
- 2. 実施主体** 公益社団法人 西原町シルバー人材センター
- 3. 調査内容** 別紙「会員アンケート調査票」のとおりとする。
- 4. 調査対象** 令和4年7月13日現在 登録全会員 233人
※なお、調査期間内に新規会員登録及び就業提供があった場合は、当該に追加し、調査対象とする。
- 5. 調査方法** 調査票は、郵送、事務局及び地域班長会の班長、就業班長により調査票を配布、または、当センター主要な行事（講習会・研修会等）の開催時に配布、実施する。
- 6. 調査期間** 令和4年8月1日(月)～令和4年8月25日(木)まで
- 7. 調査票の回収及び集計**
調査票は事務局にて回収し、集計表入力・細目内容をまとめ、以下に報告する。
- 8. 業務改善検討委員会の設置**
調査結果について協議検討するため、検討委員会を設置する。
検討委員会の構成は、理事長及び各専門委員会の正・副委員長がこれにあたり、調査に係る事項を事務局長及び業務担当者に提示し、改善等を求めるものとする。
- 9. 業務担当者会議の開催**
検討委員会の意見及び指示に基づく業務改善に向け取組む為、業務担当者会議を開催する。
会議の構成は次のとおり構成する。
事務局長及び業務担当者。
会議の経過及び内容等については、理事長に報告するものとする。
- 10. 報告** 調査結果及び業務改善の状況は、必要に応じて理事会に報告するものとし、またセンターにて掲示、ホームページに掲載するなど、情報公開を行う。
- 11. その他** 調査に係る留意点
本調査の調査項目については、会員を特定可能な設問を避けるとともに、無記名とした効力で会員の率直な意見を引き出す設問とし、調査の信憑性を確保する。
また、当該の回収した調査票は、集計及び検討委員会を終了しだい破棄するものとする。

公益社団法人 西原町シルバー人材センター

会 員 各 位

公益社団法人 西原町シルバー人材センター
理 事 長 平 良 正 一
(公印省略)

令和4年度会員の就業等に関するアンケート調査へのご協力について(ご依頼)

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素からシルバー人材センター事業の発展にご尽力を賜り衷心より厚く御礼申し上げます。

さて、この度、シルバー人材センターでご活躍の会員の皆様を対象に、就業提供等に関する会員の意向について実態を把握し、今後のセンター事業運営並びに業務改善に資することを目的に、下記のとおりアンケート調査を実施することとなりました。

つきましては、ご多忙の折誠に恐縮に存じますが、趣旨をご理解頂き、下記により調査へのご協力を頂きますようお願い申し上げます。

なお、本調査の設問については、答えにくい質問もあろうかと存じますが、無記名によりご本人を特定することなく、またこの後の就業提供に影響を及ぼすものではございません。したがって、本調査目的以外に使用しないことを申し添え、ご理解頂ければ幸いです。

記

1. 実施主体 公益社団法人 西原町シルバー人材センター
2. 調査内容 別紙「会員アンケート調査票」のとおり (A3/1 ページ)
3. 調査方法 別紙「会員アンケート調査票」にご記入頂き、下記の期限までに当該の封筒に入れて頂き、事務局へ提出して下さい。(郵送可)
※ 当該封筒は、封を閉じ、無記名でお願い致します。
4. 提出期限 令和4年8月25日(木) ※期限内に提出お願いいたします。
5. その他 会員アンケート調査票に係るお問合わせ
本調査に関するご質問等は、事務局までお問合わせお願い致します。

公益社団法人 西原町シルバー人材センター

〒903-0111

西原町字与那城 135 番地 (社会福祉センター2階)

電話 098-944-1699

FAX 098-944-1835

安全・適正就業について

【問8】 あなたは就業先への往来や作業の間など、安全面で不安・危険を感じた経験はありますか。 (該当する番号1つを○で囲んで下さい。)

1 ない

2 就業現場の環境(傾斜等)に感じた

3 就業先の往来(運転等)に感じた

4 自身の体力面で不安・危険と感じた

5 天候(暑さ・寒さ)の状況で感じた

6 その他 ()

【問9】 あなたは当センター策定の「会員の事故発生時の緊急対応マニュアル」について、ご存知ですか。 (該当する番号1つを○で囲んで下さい。)

1 知っている

2 知らなかった

その他、シルバー人材センターについて

【問10】 あなたはセンターが行う「熱中症対策」・「コロナ感染防止対策」は十分だと思いませんか。 (該当する番号1つを○で囲んで下さい。)

1 十分に行っている 2 ある程度行っている 3 十分とはいえない

【問11】 あなたはセンター入会后、知人・友人にシルバー人材センターを紹介したことがあるか、お聞かせ下さい。 (該当する番号を○で囲んで下さい。)

1 紹介した

2 紹介していない

【問12】 事務局職員の対応について (該当する番号1つを○で囲んで下さい)

1 とても良い 2 やや良い 3 普通 4 やや悪い 5 とても悪い

【問13】 就業やその他センターに関する相談を事務局職員に対して、相談しやすい・気軽に相談できますか。 (該当する番号1つを○で囲んで下さい)

1 相談しやすい(相談した)

2 相談しにくい(相談できない)

【問14】 上記の問13で、「2 相談しにくい(相談できない)」と回答された方へ、その理由について、ぜひ、お聞かせください。

()

【問15】 その他、当シルバー人材センターに対するご意見、ご要望等ございましたら、ご記入下さい。

()

～ ご協力、感謝申し上げます。誠にありがとうございました！ ～

会員の就業等に関するアンケート調査 集計表

公益社団法人 西原町シルバー人材センター

令和4年8月

問	No.	アンケート項目	回答別集計	構成比率	摘 要
【問1】 年齢層 (2区分)	1	1 60歳～70歳	51	66.2%	会員 } 60歳～70歳 77 令和4年 } 71歳～80歳以上 156 7月13日 } 現在 } 会員総数 233
	2	1 71歳～80歳以上	70	44.9%	
	3	1 無回答	7	3.0%	
	4	1 総数（無回答含む）	128	54.9%	
【問2】 シルバー 人材セン ターから の就業 提供	1	2 とても少ないと感じている	21	13.5%	
	2	2 少ないと感じている	31	19.9%	
	3	2 自分には適当と思う	69	44.2%	
	4	2 自分には多すぎる	1	0.6%	
	5	2 少し減らしてほしい	6	3.8%	
	6	2 見直してほしい	19	12.2%	
	7	2 その他	9	5.8%	
【問3】 シルバー 人材セン ターから の就業 提供 を増やす 為の対策	1	3 就業に関する情報提供の充実	35	17.7%	
	2	3 会員との就業相談を充実する	27	13.6%	
	3	3 就業の開拓・拡大に力を入れる	55	27.8%	
	4	3 技能講習会の種類・回数を増やす	26	13.1%	
	5	3 分かち合い就業の推進	33	16.7%	
	6	3 男女の別なく就業を提供する	19	9.6%	
	7	3 その他	3	1.5%	
【問4】 資格・免許 等の就業 への反映	1	4 活かされている	32	25.2%	
	2	4 やや活かされている	55	43.3%	
	3	4 活かされていない	40	31.5%	
【問5】 シルバー 派遣	1	5 知っている	81	63.3%	
	2	5 知らなかった	47	36.7%	
【問6】 配分金の 使途	1	6 家計・家計の補助	78	35.9%	
	2	6 趣味、娯楽、旅行等	34	15.7%	
	3	6 本人又は家族(孫等)の小遣い	49	22.6%	
	4	6 親戚、友人つきあい	21	9.7%	
	5	6 預貯金、将来への蓄え	33	15.2%	
	6	6 その他	2	0.9%	
【問7】 センター会員と しての 満足度	1	7 満足している	30	23.4%	
	2	7 やや満足	52	40.6%	
	3	7 やや不満	30	23.4%	
	4	7 満足できない	16	12.5%	

【問8】 安全就業 の不安・ 危険を 感じた 有無	1	8 ない	53	42.1%	
	2	8 就業現場の環境(傾斜等)に感じた	16	12.7%	
	3	8 就業先の往来(運転等)に感じた	6	4.8%	
	4	8 自身の体力面で不安・危険に感じた	12	9.5%	
	5	8 天候(暑さ・寒さ)の状況で感じた	37	29.4%	
	6	8 その他	2	1.6%	
【問9】 緊急マニュアルの周知	1	9 知っている	67	52.3%	
	2	9 知らなかった	61	47.7%	
【問10】 熱中症・ コロナ 対策	1	10 十分に行っている	35	27.6%	
	2	10 ある程度行っている	64	50.4%	
	3	10 十分とはいえない	28	22.0%	
【問11】 シルバー人材セ ンター紹介の 有無	1	11 紹介した	70	54.7%	
	2	11 紹介していない	58	45.3%	
	3	11 総数	128	100.0%	
【問12】 事務局 職員の 対応に ついて	1	12 とても良い	33	25.8%	
	2	12 やや良い	22	17.2%	
	3	12 普通	42	32.8%	
	4	12 やや悪い	26	20.3%	
	5	12 とても悪い	5	3.9%	
【問13】 事務局 相談窓口 環境	1	13 相談しやすい(相談した)	92	71.9%	
	2	13 相談しにくい(相談できない)	36	28.1%	
	3	13 総数	128	100.0%	
【問14】 問13-2 回答に 係る意見等	1	14 回答 有り	16	44.4%	
	2	14 回答 無し	20	55.6%	
	3	14 総数	36	100.0%	
【問15】 意見 要望等	1	15 意見・要望 有り	30	23.4%	
	2	15 意見・要望 無し	98	76.6%	
	3	15 総数	128	100.0%	
			2559		

上表のとおり、「自分には適切と思う」が69件44.2%と最多、一方で、「とても少ないと感じている」が、21件13.5%と前回(平成30年度)の7.7%を5.8ポイント上回り、その他の回答「多い・少ない・見直してほしい」の意向を負の回答と総じて見ると、55.8%と半数以上を占めた。

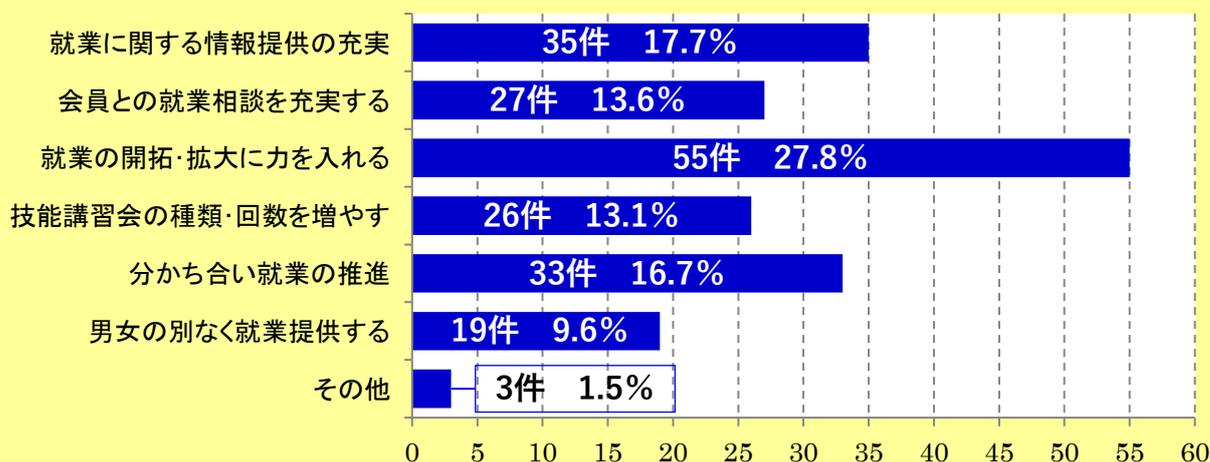
前回(30年度実施/回収率43.1%)を踏まえ、改善したとは言い難く、就業提供のあり方について改めて提起されたものと解される。

また、後に示す「意見・要望」他の(コメント含む)についても、「就業提供の確保・提供」に関する事案が36.8%の最多で示されたことから、会員のこれらの意向を踏まえ、適正就業ガイドラインに沿った就業提供のあり方が提起されたものと解される。

【問3】 当センターが就業提供を増やすために、どの対策を講じると良いと思いますか。
(該当する枠内の番号を○で囲んで下さい。 ※2つ以内)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 就業に関する情報提供の充実 | 2 会員との就業相談を充実する |
| 3 就業の開拓・拡大に力を入れる | 4 技能講習会の種類・回数を増やす |
| 5 分かち合い就業の推進 | 6 男女の別なく就業を提供する |
| 7 その他 () | |

【問3】 シルバー人材センターからの就業提供を増やす為の対策



当該の問3は、本来、センターが企画・立案し、対策を講じるべき事項であるが、未・就業会員を含む会員の要望・提案を取入れ、今後のセンター活動に反映させる為、今般新設した質問事項であった。

結果、上記のとおり、「就業の開拓・拡大に力を入れる」が55件27.8%と最多で、当該に回答を付した多くが、未・低就業、また60歳～70歳とした回答者であった。

【問4】 あなたの資格・免許・特技等は就業に活かされているか、お聞かせ下さい。
(該当する番号1つを○で囲んで下さい。)

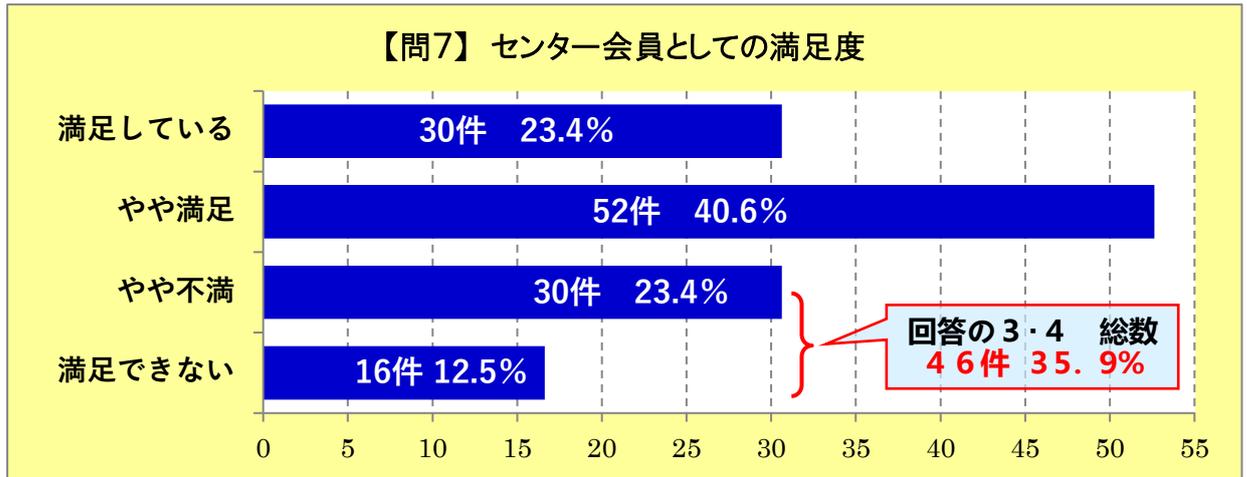
- 1 活かされている 2 やや活かされている 3 活かされていない

【問4】 会員の資格・免許・特技等は就業に活かされているか



【問7】 あなたのシルバー人材センター会員としての満足度についてお聞かせ下さい。
 (該当する番号1つを○で囲んで下さい。)

1 満足している 2 やや満足 3 やや不満 4 満足できない



当該は、センターの組織運営上、重要な問いとなるが、「やや満足」52件40.6%で最多、「満足している」は30件23.4%にとどまった。当該回答も問3と関連し、同一回答者において未低就業と解される者の多くに「満足できない」等の回答が散見された。

前回アンケート調査(平成30年度実施)において、「やや不満・満足できない」は合わせて27.3%、特に「満足できない」は10.5%であったことから、悪化の傾向にあり、大きな課題を残す結果となった。

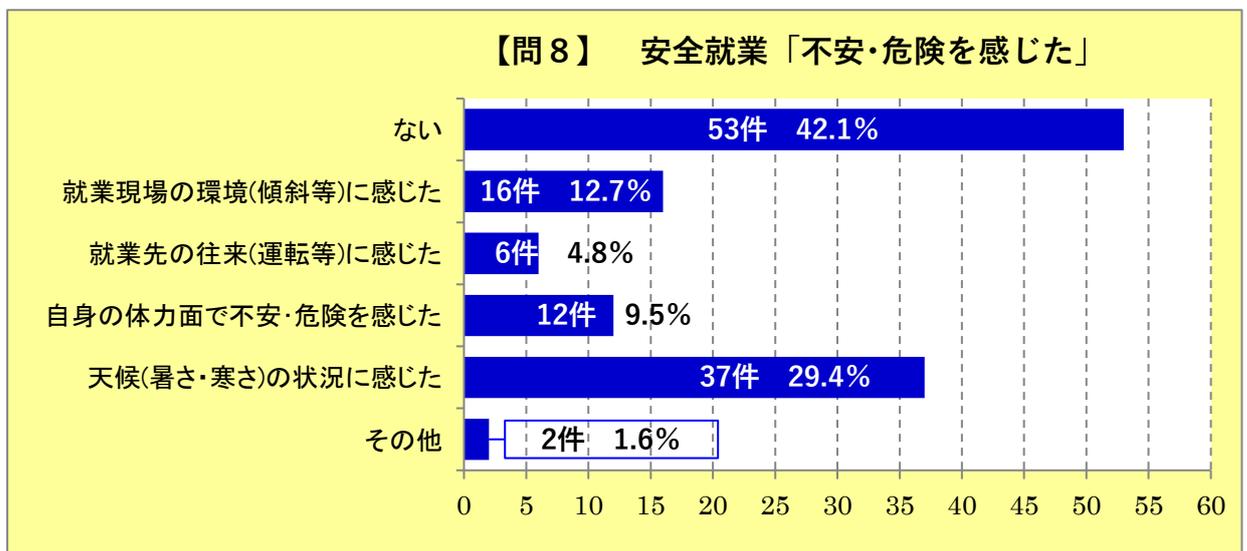
今般の「やや不満・満足できない」を合わせ、四割に迫る会員が満足するに及ばない意向を注視するとともに、会員の意向に沿った就業機会の確保・提供を含む定款第4条に規定する事業の推進やシルバー事業の本旨に沿った業務遂行がなされているか等を問われる結果であった。

特に「満足できない/12.5%」の一割強の意向については、今後のセンター運営、業務の在り方にも影響を及ぶ回答材料である為、大きな課題が残る結果となった。

安全・適正就業について

【問8】 あなたは就業先への往来や作業の間など、安全面で不安・危険を感じた経験はありますか。
 (該当する番号1つを○で囲んで下さい。)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 ない | 2 就業現場の環境(傾斜等)に感じた |
| 3 就業先の往来(運転等)に感じた | 4 自身の体力面で不安・危険と感じた |
| 5 天候(暑さ・寒さ)の状況で感じた | 6 その他 () |



当該の間 8 は、安全就業の対策にあたって、会員の就業環境の把握と安全就業の確保に資することを前提に新設した質問事項であった。

結果、就業先への往来や作業の間など、安全面で不安・危険を感じたが「ない」が53件42.1%で最多、但し当該は、未低就業会員も含まれている。

次いで「天候(暑さ・寒さ)の状況に感じた」が37件29.4%と最も多く、他の項目の2倍以上を占めたことから、今夏の猛暑における就業環境に懸念が残る結果であった。

センターでは、今年度、3件の熱中症が発生した為、熱中症警戒アラートの活用、また防止策のチラシを作成・掲示するなど対策を講じたところであるが、後述の「意見・要望」において「サマータイム」を示唆するコメント、意見要望が2件寄せられたことから、従前の取組みに加えた会員の安全な就業環境の確保への取組みが提起された。

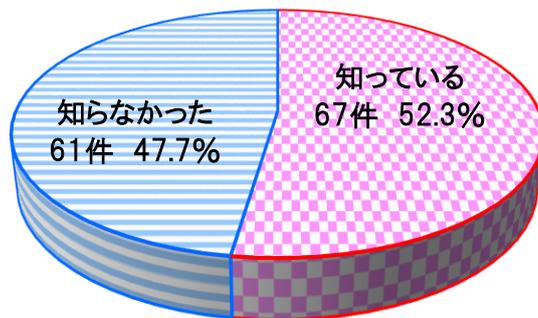
その他の回答事項についても、引き続き対策を講じるなど、会員の安全な就業環境の確保が最優先となった。

【問 9】 あなたは当センター策定の「会員の事故発生時の緊急対応マニュアル」について、ご存知ですか。
(該当する番号 1 つを○で囲んで下さい。)

1 知っている

2 知らなかった

【問9】 緊急マニュアルの周知



「緊急マニュアルの周知」の問いに、前回アンケート調査(平成30年度実施)においては、80.6%の会員が「知っている」と良好な結果に対し、今般は、左記のとおり「知っている」67件、52.3%、「知らなかった」61件、47.7%と課題を残す結果となった。

また、前述の熱中症発生時に「緊急マニュアル」が活かされていない事案もあったほか、後述の「緊急マニュアルの配布」の意見・要望があった。

緊急マニュアルの周知については、安全の

徹底に関わる重要な課題であるが、安全・適正就業委員会及び安全・適正就業指導員、推進員は、就業全般、相談・助言等に至る安全に関わる全てを「事務局と連携して」対策を講じる、また緊急時に迅速に対処するとされている為、双方に委ねられ、提起されたものと解されたい。

その他、シルバー人材センターについて

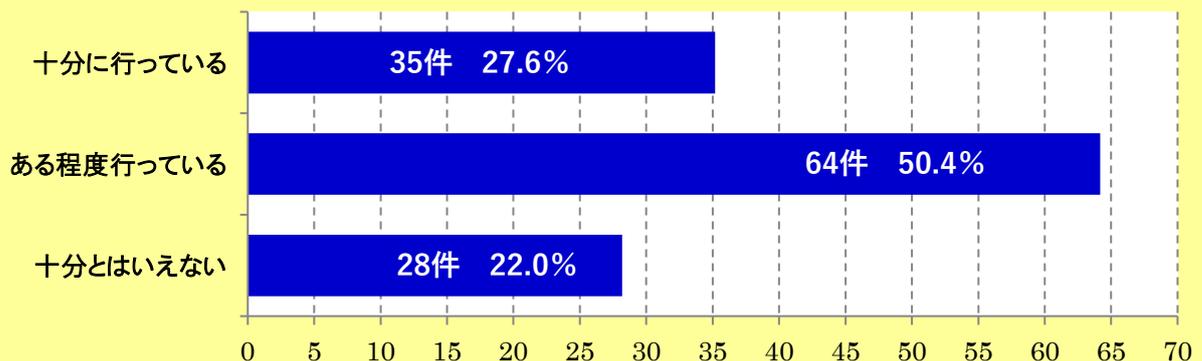
【問 10】 あなたはセンターが行う「熱中症対策」・「コロナ感染防止対策」は十分だと思いますか。
(該当する番号 1 つを○で囲んで下さい。)

1 十分に行っている

2 ある程度行っている

3 十分とはいえない

【問10】 センターが行う「熱中症対策」・「コロナ感染防止対策」



承知のとおりコロナ禍にあって、熱中症対策との両立による会員への安全対策に資する為、新設した質問事項であった。

結果、センターが行う熱中症対策・コロナ感染防止対策に、「ある程度行っている」が64件 50.4%と半数となった。

「十分とはいえない」については、後述の意見・要望に挙げられた、センター車両のエアコン故障の修理を求める旨の要望2件も、これらの要因が伺えた。

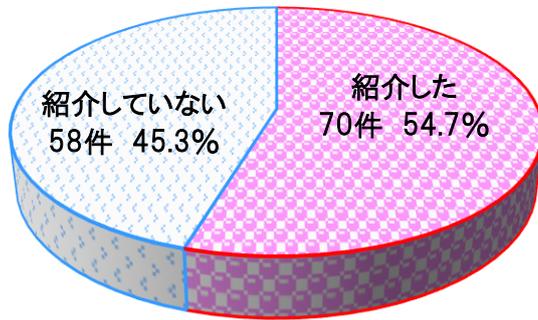
会員自身が行う熱中症対策及び感染防止対策に加えて、センターの責務において、安全・適正就業が最優先となることから、確実・迅速な対応が求められている。

【問 11】 あなたはセンター入会后、知人・友人にシルバー人材センターを紹介したことがあるか、お聞かせ下さい。(該当する番号を○で囲んで下さい。)

1 紹介した

2 紹介していない

【問11】 シルバー人材センター紹介



左記のとおり、「シルバー人材センター紹介」についての問いに「紹介した」70件、54.7%と半数を占めた。

一方、「紹介していない」は58件、45.3%の半数に迫る結果であった。

会員の入会経路について、令和2年度が新規会員全体の29.4%、令和3年度が、20%と会員の紹介による入会は減少傾向にある。

承知の当センター策定の『会員増強運動要領』に基づく会員拡大に取り組む中において、

半数弱の45.3%の「紹介していない」とした会員の多くが未低就業と解される回答であったことから、就業の確保・提供と併せた取組みによる会員拡大と退会抑制が図られるものと、ここでも示された。

また、女性会員数の鈍化・減少傾向も、従前からの懸案事項であり、今回の意見・要望にも「女子の業種をふやす…」といったコメントもあることから、新たな職域の拡大、開拓と併せた取組みが提起された。

【問 12】 事務局職員の対応について (該当する番号1つを○で囲んで下さい)

1 とても良い

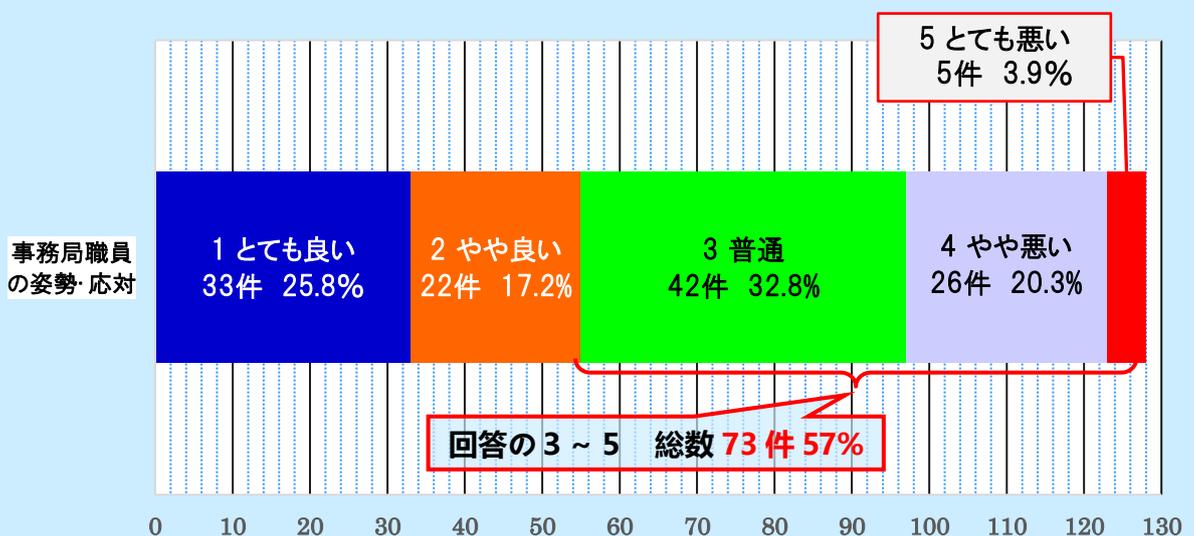
2 やや良い

3 普通

4 やや悪い

5 とても悪い

【問12】 事務局職員の対応について



当該の「とても良い・やや良い」といった事務局への対応を良しとする回答は、合わせても55件、全体の43%と半数に届かなかった。

一方、「普通」以下、「やや悪い・とても悪い」については、総計で73件、全体の57%を占めた。

特に、「やや悪い」20.3%は、「やや良い」の17.2%を上回り、「とても悪い」は5件の3.9%であった。

前回アンケート調査(平成30年度実施/回収率43.1%)において、「やや悪い」17件18.3%、「とても悪い」5件5.4%と、合わせて22件、23.7%に対し、今回は「やや悪い」26件20.3%、「とても悪い」は5件の3.9%、合わせて24.4%を踏まえると、僅かながら悪化の傾向にあり、また今回アンケート回収率54.9%であることから、会員数全体を相対的に鑑みても課題を残す結果となった。

また、後述の「意見・要望」についても「事務局への提言」として8件(意見・要望全体21.1%)もの事案、提言等が示されたほか、会員への公平・丁寧な対応がなされたか懸念が残るコメントも12件に上った。

センターと役員(理事会=会員)とのパイプ役を担い、組織運営にあたっての実務を業務遂行する事務局において、上述の悪化傾向、また関連する意見・要望の内容を見ても、重要な事項が提起された。

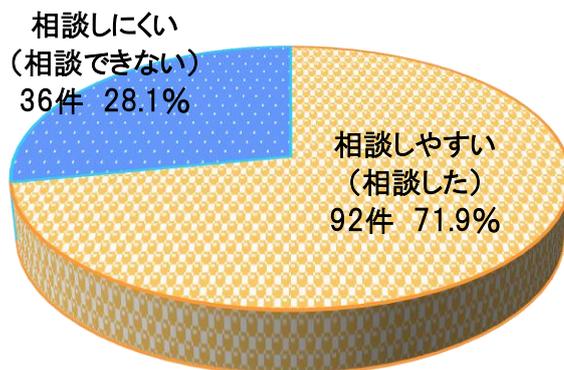
したがって、就業会員及び地域高齢者における相談窓口、並びに発注者に直に関わる窓口である事務局へ改善が求められた課題として解すべき結果としたい。

【問13】 就業やその他センターに関する相談を事務局職員に対して、相談しやすい・気軽に相談できますか。(該当する番号1つを○で囲んで下さい)

1 相談しやすい(相談した)

2 相談しにくい(相談できない)

【問13】 事務局における相談窓口環境



左記のとおり、事務局職員に対して就業やその他センターに関する相談をし易いかの問いに、「相談しやすい(相談した)」92件、71.9%と七割を占める良好な結果となった。

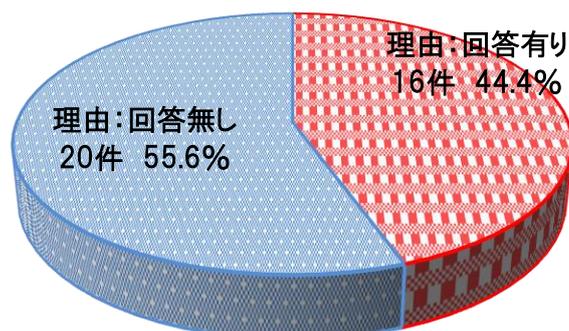
一方、「相談しにくい(相談できない)」36件、28.1%については、先の設問(事務局職員の対応)に関連して、大きな課題を残す結果となった。約3割の会員が相談しにくい・できないとの回答は、先の事務局職員の対応の問いに関連し、当該の「やや悪い」に付した同一回答者において9件、「とても悪い」に回答した2件の者が「相談しにくい(相談できない)」の回答に付していた。

また当該も今回アンケート回収率54.9%を相対的に鑑みても課題を残す結果であることから、決して低い数値ではないと認識の下、改善が求められたものと解したい。

【問14】 上記の問13で、「2 相談しにくい(相談できない)」と回答された方へ、その理由について、ぜひ、お聞かせください。

[]

【問14】 相談しにくい・できない理由



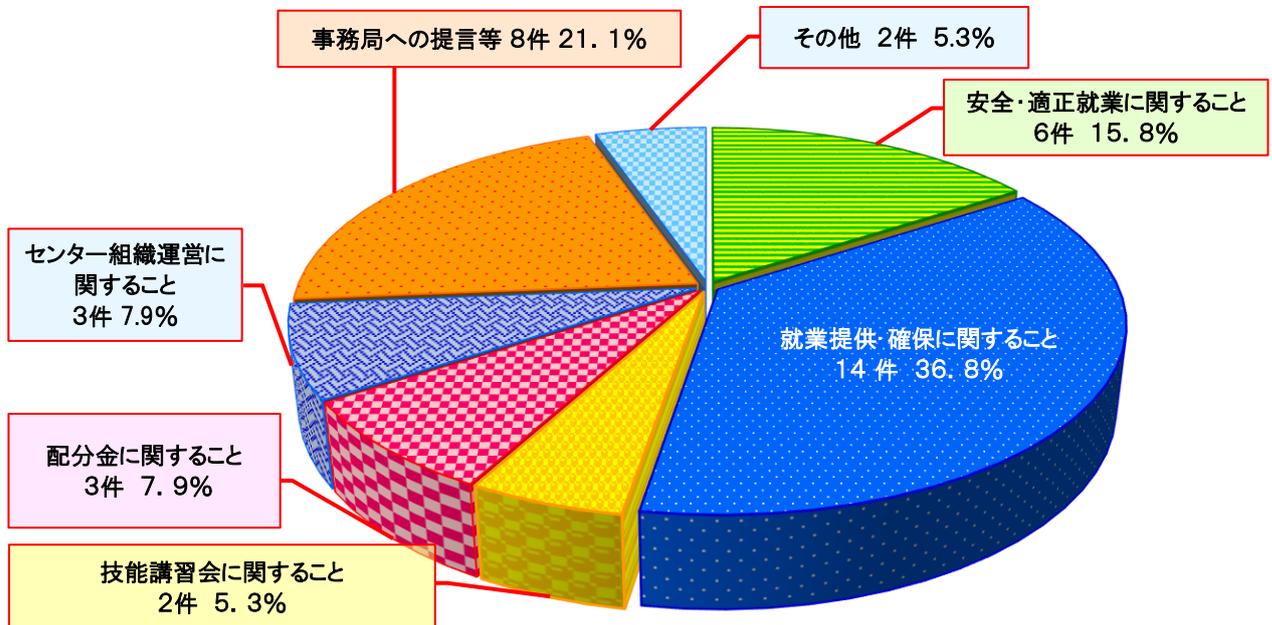
先の問13において、36件の「2 相談しにくい(相談できない)」理由について、回答あったのは16件(44.4%)、うち20件(55.6%)は理由についてのコメントは無かった。

回答のあった16件においては、会員への公平・丁寧な対応がなされたか懸念が残るコメントも12件に上ったほか、当該の詳細については以下の「センターへの意見・要望」により提示しており、急務な改善事項もあることから、注視されたい。

特に回答が無かった20件については考察に足りる意見・要望、その他のコメントもないことから、事務局へは、重い課題が示唆されたものと解すべき結果であった。

【問15】 その他、当シルバー人材センターに対するご意見、ご要望等ございましたら、ご記入下さい。

【問15】 センターへの意見・要望別分類



※問15「相談しにくい(相談できない)」理由に関するコメント含む

センターへの意見・要望について、アンケート回答総数128件において、38件(コメント含む)、全体の29.7%の約三割の意見・要望が寄せられた。

上記のとおり、内容別7項目に分類した結果、「就業提供・確保に関する意見・要望」が14件38.6%で最多、次いで「事務局への提言等」が8件の21.1%であった。

双方については、多くが就業提供のあり方を問う内容であり、センター組織の現状を示唆する事案等、重要な意見・要望であった。

続いて「安全・適正就業に関する事」は6件15.8%と安全意識の高い会員からの意見・要望が挙げられた。

また「配分金に関する事」も3件、7.9%の多くは、配分金の改定、見直しについての意見・要望であった。

今回、「技能講習会に関する事」2件の5.3%は、定款4条第3号に規定する会員の就業に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習を行うことに関連し、際立った意見・要望であった。

「センター組織運営に関する事」についても3件7.9%と、組織の一員としての意識の高さが伺え、組織運営に会員自らも問題意識をもって、センターに関わっていると解される意見・要望であった。

「その他」2件については、センター或いは職員への労い・励ましと言った好意的配慮の内容であった。

会員の意見・要望の全38件(コメント含む)の詳細は、以下P15～P35にて掲げ、「一言一句」全て、実際の文言で転記し、報告といたします。

公益社団法人 西原町シルバー人材センター
令和4年度 会員の就業等に関するアンケート調査

～ センターへの意見・要望 (【問 14・15】関係) ～
※ (設問中、その他コメントを含む)

意見・要望に係る注記

1.	<input type="text"/> 内で1名の意見・要望
2.	当該に付してある番号は、便宜上のもので、回答者を特定するものではありません。
3.	意見・要望(朱書き)は、一言一句、実際の文言で記載しています。
4.	<input type="text"/> は、回答要約・分析等 (必要に応じて記載) 注)① 要約・分析については、回答結果から特に課題・問題点として読み取れる内容(問題等の提起)の回答のみ、分析として挙げています。 注)② 分析については、当該回答者の意見・要望に至った、関連すると思われる主な設問/回答を「参考」として記載しています。 注)③ 分析については、先入観を排除し客観的となるよう努めたことを申し添えます。 (担当:上原)

「センター掲示板」・「ホームページ」をご覧の会員の皆様へ

当該の「センター意見・要望」次葉の16ページから35ページについては、西原町シルバー人材センター事務局内に「閲覧・貸出ファイル」を設置しておりますので、閲覧をご希望される会員の方は、事務局へお申し付けください。
ご理解、ご協力をお願いいたします。

【 総括・今後の取組み 】

～ はじめに ～

当該アンケートは、「令和4年度会員の就業等に関するアンケート調査実施要領」に基づき、調査期間令和4年8月1日～8月25日に実施いたしました。

調査総数 233の全会員を対象に調査した結果、128人の回答を得、回収率として54.9%であった。

当該の調査結果については、実施要領に基づき、センターで組織する業務改善検討委員会等で協議・検討により精査し、センター運営に資するといった目的を果たす為の指標として取扱うものとする。

～ 総括・今後の取組み ～

本調査については、会員増強及び退会会員抑制の取組みに資するとともに、関係法令及び定款に定める事業の適正かつ効果的な運営を図る為、実態を把握し、会員の就業環境の改善等、今後のセンター事業運営に資することを目的に実施した。

結果、128人の回答を得、回収率として54.9%、前回の調査(平成30年10月実施)より11.8ポイント上回ったほか、センターへ38件(回答者全体の29.7%)もの意見・要望が寄せられた。

集計結果、意見・要望を概してみると、会員の就業機会の創出(開拓)、確保及び提供に起因する回答内容、また就業意欲の高い一方で、センター会員として満足を得るに足る就業提供が成されていない等、関連する意見・要望(全38件中)も14件 36.8%に及ぶなど、センター組織の現状を示唆する就業提供の在り方が提起された。

また安全意識の高い会員から安全就業に関わる意見・要望もあり、これに関連して事務局への提言も多く寄せられたほか、会員からの提案・要望・相談について、事務局全体で共有し、関連する諸規程に基づく優先事項(会員の安全な就業環境)の確保、「高齢運転者等に係るガイドライン」及び当センター「資源化物収集委託等による運転業務に係る安全就業基準」の運用及び活用など、迅速かつ丁寧な対応を講じたか、安全に関わる会員の声が即時、反映される実務処理、事務局体制が図られているかが問われた。

更に「サマータイム」を示唆するコメント及び制度導入に関する意見・要望があったことから、当該も会員の安全な就業環境の確保が提起された。

続いて、「クライアントとの契約内容(仕様書等)の情報提供をお願いします」の要望については、懸案事項として挙げられた。センターが会員に提供する業務は、請負・委任の就業形態であり、法令遵守はもとより、当センター「適正な運営のための受注基準」に基づき、十分熟慮された受注を班長始め会員(班員)が、当該の契約条件等を承諾した上で、請負った契約内容に即した仕事を完了、または公共等の委任契約内容の業務の遂行を目的とすることから、当該は、重要な課題を残す意見・要望であった。契約条件の承諾は、発注者とセンター、センターと会員の間とのトラブルを回避する上でも、就業開始前に請書、受注票の写し、契約書(写)などの仕様書等を会員に交付するなどして具体的な就業が履行される重要な過程に関わる事務にあつて、諸規程に沿った事務処理がなされているか懸念が残る意見・要望も散見された。加えて、「適正就業ガイドライン研修」、「シルバー派遣」等の周知が不十分であった結果から、広報や入会説明会の在り方なども課題が残った。

会員増強及び退会会員抑制の取組みに資するといった本調査の目的に関わる重要な事案が示された。

中でも、新規入会と伺える会員から「それなりに多種、多様な仕事があると思っていましたが・・・」、また就業会員からの具体的な職種の希望、女性の職種の開拓要望、更に技能講習会の充実(回数・種別増)の要望があり、これら全てが、定款第4条に規定する事業の着実な実践が強く求められた。特に、従来の「清掃・除草」といった中核的な事業を維持しつつ、事務系職種、人手不足分野等、新たな職域の開拓、或いは技能講習会の充実が迫られており、会員の就業提供を始めとする定款第4条の事業活動よつて当該の要望を含め、会員の増強も結実されることから、確実な実務処理を担う事務局に改めて示された。

したがつて、新たな職域の開拓を始めとする就業の確保、就業の提供については従来から課題の平準化を含めた取組み、また就業に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習会の充実など退会抑制を講じた上での会員拡大への取組みが、今後の当センターの組織運営にあたる重要な指針が与えられたものと解され、これら諸般の実情を踏まえ、役職員が共通認識をもつて取組むべき喫緊な課題が提起された調査結果であった。

これらの可視化した回答結果、また「意見・要望」を突合した検証と、更に調査回答を得るに至らなかった約半数の会員の意向も推し量つた取組みが求められたものと解されたい。

以上の調査結果から、シルバー事業の本旨を理事会の運営に沿つたセンターの在り方及び実務を担う事務局へ会員の就労意欲に応え得る着実な実践が問われたものと総括致します。

今後の取組みとしては、業務改善検討委員会の設置にて精査し協議検討を経て、これらの意見及び指示に基づく業務改善に取組む為、業務担当者会議を開催する。また会議の経過、改善事項等を理事長に報告するとともに、調査結果及び業務改善の状況は、会員並びに理事会へ報告、またホームページ等を活用し、情報公開致します。

以上、「令和4年度会員の就業等に関するアンケート調査」の報告と致します。